

第27回

いるま生涯学習フェスティバル

—— 実施報告書 ——

オンライン  いるまなびと



オープニングイベント 会場開催	オンライン開催 (Web配信)
2022年 12月4日(日) 時間：9時45分～15時 会場：産業文化センター	2022年 2023年 12月11日(日)～1月15日(日) 特設サイト： https://irumanabito.net/online2022fes/
参加団体：17 団体	参加団体：29 団体

共催：入間市、入間市教育委員会、入間市生涯学習をすすめる市民の会、
公益財団法人、入間市振興公社
主管：第27回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会

ご挨拶

コロナ感染症が収束しない中、実行委員会は6月末に立ち上がりました。

昨年に引き続きオンライン開催でやる一方、12月にはリアル開催ができるかもという希望を持ち、感染者数をみながら9月頃に最終判断をし、リアル開催もすることになりました。団体の参加方法もオンライン参加のみ、リアル参加のみ、どちらも参加と多様な募集をしました。事務局は対応が大変だったと思いますが、結果リアル参加は17団体、オンライン参加は29団体、どちらも参加は9団体の方々が集まりました。オンライン参加の場合、肖像権や曲や画像の著作権があり、つくる側、主催者側が注意し確認しなければなりませんでした。その努力のおかげでサークルや団体の活動をいつでも動画でみることができ閲覧回数は1568回でした。いるまなびとサイトでアーカイブ（保存記録）として活動の蓄積として活用されていました。リアル開催はオープニングでオンライン動画のダイジェストを放映しました。ホールではキッズチアダンス・民謡会・音楽家協会のトランペットの発表があり、久しぶりに大きな舞台で出来たことにモチベーションが上がったと感想をいただきました。展示会場では新たに展示物をつくり今後に活かせるや来場者と話が出来て良かったなど281名の来場者の方々と交流できました。二本立て開催は好評価でした。また、広報もチラシ枚数減らしSNSのTwitter・Instagram・Facebookを使い宣伝しました。

令和5年3月22日

第27回いるま生涯学習フェスティバル実行委員長
山増 智子

第27回 いるま生涯学習フェスティバル

＼ テーマ ／

オンライン いるまなびと

— 開催要綱 —

- 趣 旨** 市民の生涯学習活動の成果や活動状況の発表の機会を提供し、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに、学習活動への参加を促進し、市民と行政との協働によるまちづくりをめざし開催します。
- 開催期間**
 - オンライン開催（WEB配信）
令和4年12月11日（日）～令和5年1月15日（日）[36日間]
 - オープニングイベント（会場開催）
令和4年12月4日（日）開会 9：45～閉会 15：00
- 会 場**
 - オンライン開催（WEB配信）
入間市生涯学習をすすめる市民の会ホームページ
「いるまなびとサイト」（<https://irumanabito.net/online2022fes/>）内に設置される「いるま生涯学習フェスティバル特設サイト」
 - オープニングイベント（会場開催）
入間市産業文化センター
- 内 容**
 - ・生涯学習活動の成果発表、活動紹介
 - ・生涯学習活動を行う個人、団体の交流
- 参加者** 市内在住・在勤・在学の方 または 市内公民館・博物館等で活動している団体・サークル等で、発表したい学習・活動の成果がある個人または団体。
- 共 催** 入間市・入間市教育委員会・入間市生涯学習をすすめる市民の会・公益財団法人・入間市振興公社
- 主 管** 第27回 いるま生涯学習フェスティバル実行委員会
- 問合せ** いるま生涯学習フェスティバル実行委員会事務局
入間市教育委員会 社会教育課 生涯学習・社会教育担当
電話：04-2964-1111（内線4121～4124）
メール：ir815000@city.iruma.lg.jp

第27回 いるま生涯学習フェスティバル 実行委員会

- ・ 実行委員の選出 「いるま生涯学習フェスティバル」（以下、「生フェス」と略す）は、市民と行政が実行委員会を組織し、協働で企画・運営する事業です。規約では、行政職員の選出基準は、教育部9人、企画部・市民生活部・環境経済部・福祉部・こども支援部・健康推進部から各1人の計15人となっていますが、教育部人、入間市生涯学習をすすめる市民の会から10人を選出しました。
- ・ 実行委員 (敬称略・順不同)
 - ◆入間市生涯学習をすすめる市民の会
青地 覧子 / 幸森 康夫 / 指田 博行 / 佐藤 享 / 関谷 敦子 / 土屋 修 / 長崎 彩子 / 山増 智子 / 渡部 直也 / 開坂 武
 - ◆行政職員委員
[企画部情報政策課主任] 林田 匡平
[市民生活部地域振興課主事] 比留間 友耶
[教育部博物館主事] 中村 祐太
[教育部図書館主査] 安藤 良成
[教育部東藤沢公民館主査] 田代 晴美
- ・ 事務局 (敬称略・順不同)
 - [社会教育課長兼中央公民館長] 吉川 哲夫
[社会教育課生涯学習・社会教育担当]
片寄 智恵 / 小田部 家秀 / 大橋 貫志 / 岩崎 楓

実行委員会 会議の記録

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
R4年 6/30 (木)	R4年 7/26 (火)	R4年 9/6 (火)	R4年 9/30 (金)	R4年 10/20 (木)	R4年 11/18 (金)	R5年 1/26 (木)

※開催時間は18時30分～概ね2時間

第27回 いるま生涯学習フェスティバル 参加者（団体）

募集要項を広報いるま2022年8月1日号に掲載

市内の公民館・博物館・図書館等で活動している生涯学習関係の団体やサークルへの声かけや、「いるまなびと」サイト内の申込フォームなどで、参加者（団体）を募集しました。

新型コロナウイルス感染症の状況が予測できなかったため、参加形態を ①オンライン開催(ア) ②会場開催(イ) ③オンライン開催と会場開催の両方(ウ)、の3パターンで希望を取りました。

8月10日～8月31日の募集期間で、37件の参加申込みがありました。

参加方法	オンライン開催 (2022/12/11～2023/1/15)		会場型発表会 (オープニングイベント 2022/12/4)	
	A：委託収録・委託編集 [参加費] 3,000円 撮影～編集まで≫入間ケーブルテレビ	4件	ア：オンラインのみ 参加希望	18件
	B：自分で収録・委託編集 [参加費] 1,000円 撮影≫申込者 編集≫入間ケーブルテレビ	7件		
	C：完全自作 [参加費] 0円 撮影～編集≫申込者	6件	ウ：オンライン・会場型 の両方に参加希望	11件
	D：昨年度の動画で参加 [参加費] 0円	12件		
				イ：会場型のみ参加希望 [参加費] 0円

参加団体一覧（順不同）

ア：オンラインのみ参加

MateRio（マテリオ）／Tea Time コーラス／入間市児童センターボランティア会／
The Ladies Consort／生活クラブ生活協同組合入間支部／Liebe Freunde（りいべふろいんで）／
楽器トーンチャイムの会／チームあいてい夢広場／入間市の文化遺産をいかす会／こうのとり／
野田双子織研究会／読み聞かせボランティアどんぐり／おはなし円（まどか）／
一般社団法人 言語交流研究所ヒッポファミリークラブ／入間市児童センターアイクス／
NPO法人まちづくりサポートネット元気な入間／ウォーキン・ジャズクラブ／土曜フォトクラブ／

イ：会場型のみ参加

入間市川柳連盟／L&F（Lost and Found）クラブ／キッズチアダンス／Funny Girls／
HAPPY CLOVER／Hopping Shower／Dream Kids／NEO BLASTERS

ウ：オンライン・会場型の両方参加

ジャズクラブ／青少年課放課後子ども教室／いるま子育て情報発信隊／入間市音楽家協会／
NPO法人あそびあ〜と☆こども劇場いるま／MOA健康生活ネットワーク／入間市おもちゃ病院／
入間市障害者自立支援協議会／いちの会／東町民謡会／入間市生涯学習をすすめる市民の会／

第27回 いるま生涯学習フェスティバル 参加者（団体）案内

第26回オンライン開催での著作権関係がとて大変だったので、今回、動画作成時の注意事項等、細かく記載して参加者（団体）へ通知したのですが、やはり確認不足が発生し、著作権の確認にとても時間がかかりました。

また会場開催についても、コロナ感染が増加傾向にあったため、開催を不安視される中、ガイドラインに沿って開催することを条件に、なんとか実現することができました。

参加方法	案内（注意事項）	
<p>A： 委託収録・ 委託編集 [参加費] 3,000円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入間ケーブルテレビと日時場所を調整し収録 ・ 参加費は11/11までに社会教育課提出 	<ul style="list-style-type: none"> ● YouTubeを利用して配信 ● 動画の長さは約10分程度。 ● 投稿で利用できる「音源」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自身で演奏したもの ・ 自身の演奏に合わせて歌唱したもの ・ 市販のCD、DVD、レコード、ダウンロードした音源等は許諾を得なければ使用できません。 ● 「楽曲」はJASRACの検索サービスより使用できるか確認をしてください。 https://www2.jasrac.or.jp/eJwid/main?trxID=F00100 ● 音楽だけでなく、許諾を得ていない著作物（イラスト・デザイン・写真・文章など）は必ず許諾を得て使用してください。 ● 動画に写っている人の許諾も必ず得てください。
<p>B： 自分で収録・ 委託編集 [参加費] 1,000円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が収録・制作した素材データと「編集指示書」を入間ケーブルテレビに編集委託 ・ 参加費等は11/11までに社会教育課提出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽だけでなく、許諾を得ていない著作物（イラスト・デザイン・写真・文章など）は必ず許諾を得て使用してください。 ● 動画に写っている人の許諾も必ず得てください。
<p>C： 完全自作 [参加費] 0円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が収録・制作した動画（完成版）を11/11までに社会教育課提出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 未成年者は必ず保護者の許諾を得てください。 ● 意図で気でもなく、画像に写りこんだ家や風景、住所表示、車のナンバー、名札等、個人情報に関わる画像にはボカシを入れるなど画像処理してください。 ● 権利関係の手続きやライセンス料については参加者が解決、負担することとします。
<p>D：昨年度の動画で参加 [参加費] 0円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度制作した動画をそのまま使用 新たな動画の作成や、昨年度の動画の変更はできません。 	
<p>イ、ウ 会場型参加 [参加費] 0円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入間市産業文化センターのホールでのステージ発表会 A棟屋内での展示発表会に限定 ・ 飲食を伴う内容は実施不可。 ・ 入間市主催事業等の開催における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン、公民館等の施設利用規則を遵守 http://www.city.iruma.saitama.jp/shisei/bousai/1010191/1010659/1011500.html 	

第27回 いるま生涯学習フェスティバル 広報活動

ポスター・チラシの配布計画は前回と同様にペーパーレスを基本とし、紙での配布・掲示は各施設や生涯学習掲示版など最小限にとどめ、ホームページやSNSによる広報に力を入れることとしました。

「広報いるま」11月1日号にオープニングイベントの開催告知、12月1日号にオンライン開催告知を掲載しました。

オープニングイベント会場での開催PRのため、のぼりを新たに10本制作しました。

<p>Twittew https://twitter.com/irumanabito</p>	<p>Instagram https://www.instagram.com/irumana bito/</p>	<p>Facebook https://www.facebook.com/profile.php?id=100088139411952</p>

SNSでの紹介画像

水色をオープニングイベント参加団体、ピンク色をオンラインのみ参加団体とデザインしました。

いるま生涯学習フェスティバル
オンライン de いるまなびと

放課後子ども達にわくわく★ドキドキ体験を
入間市放課後子ども教室

12月11日~1月15日

入間市で活動している29団体をオンラインでご紹介
新しいことを始めるきっかけにぜひご覧くださいませ

詳しくは次へ

いるま生涯学習フェスティバル
オンライン de いるまなびと

入間市でコーラスを楽しむなら
TeaTimeコーラス (ティータイムコーラス)

12月11日~1月15日

入間市で活動している29団体を動画でご紹介してます
新しいことを始めるきっかけにぜひご覧くださいませ

詳しくは次へ



第27回 (2022)

オンライン開催+オープニングイベント会場開催

いるま生涯学習フェスティバル



いるま生涯学習フェスティバルは「いるまなびと[※]」の「成果発表」と「交流」の場です。今年はオンライン開催に加え、オープニングイベントを産業文化センターで会場開催!

※「いるまなびと」とは地域で仲間と学ぶ市民を表する言葉で、「いるま」、「まなび」、「ナビゲーション(案内)」、「ひと」を合わせた造語です。

オンライン いるまなびと

オープニングイベント

オンライン開催 (Web 配信)

2022
12/4(日)

時間：9時45分～15時
会場：入間市産業文化センター

2022
12/11(日)～ 2023
1/15(日)

特設サイト
<https://irumanabito.net/online2022fes/>

プログラム・会場・参加団体

コンテンツ (団体名は50音順)

1階 ホール

オープニングセレモニー
9:45～10:15

キッズチアダンス
10:30～12:00

- Funny Girls
- HAPPY CLOVER
- Hopping Shower
- Pinky Angel
- Dream Kids
- NEO BLASTERS

東町民謡会
13:00～14:00

入間市音楽家協会
14:00～15:00

2階 学習室

10:00～15:00

- L&F(Lost and Found)クラブ

2階 第2集會室

10:00～15:00

- 「いちの会」
- いるま子育て情報発信隊
- 入間市おもちゃ病院
- 入間市生涯学習をすすめる市民の会
- 入間市障害者自立支援協議会
- 入間市川柳連盟
- NPO法人あそびあ〜と〜こども劇場いるま
- MOA健康生活ネットワーク
- 青少年課放課後子ども教室

3階 小研修室

10:00～15:00

- 入間ジャズクラブ

音楽会

- 東町民謡会
- 入間市音楽家協会
- 楽団トーンチャイムの会
- こころのとり
- The Ladies Consort
- Tea Timeコーラス
- Liebe Freunde(りいべふるいんで)

研究発表会

- 野田双子産研究会



特設サイトへアクセス!

いるまなびと

団体/サークルの活動紹介

- 「いちの会」
- 一般財団法人 言語交通研究所
- ヒップファミリークラブ
- いるま子育て情報発信隊
- 入間市おもちゃ病院
- 入間市児童センターアイクス
- 入間市児童センターボランティア会
- 入間市生涯学習をすすめる市民の会
- 入間市障害者自立支援協議会
- 入間市の文化遺産をいかにす
- 入間ジャズクラブ
- ウォーキング・ジャズ・クラブ
- NPO法人あそびあ〜と〜こども劇場いるま
- NPO法人まちづくりサポートネット元気な入間
- MOA健康生活ネットワーク
- おはなし円(まどか)
- 生活クラブ生活協同組合 入間支部
- 青少年課放課後子ども教室
- チームあいてい夢広場
- 土曜フォトクラブ
- MateRio
- 読み聞かせボランティア どんぐり



いるティー

・新型コロナウイルス感染拡大防止のための十分な対策を行った上で、実施いたします。
 ・ご来場の際は、マスクの着用・手洗いの消毒・ソーシャルディスタンスの確保等、感染拡大防止にご協力をお願いします。
 ・感染拡大状況により、イベントの内容が変更になることがあります。予めご了承ください。

共催 入間市、入間市教育委員会、入間市生涯学習をすすめる市民の会、公益財団法人 入間市振興公社

主管 第27回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会

お問い合わせ 実行委員会事務局 (入間市教育委員会 社会教育課内) TEL 04-2964-1111 (内線4122・4123)

第27回 いるま生涯学習フェスティバル

オープニング イベント

2022/12/4 開催 17団体 /

1階 ホール

▶9:45~10:15
オープニングイベント

▶10:30~12:00
キッズチアダンス

Funny Girls
HAPPY CLOVER
Hopping Shower
NEO BLASTERS

▶13:00~13:30
東町民謡会

▶14:30~15:00
入間市音楽家協会

2階

★ 学習室

L&F
クラブ

★ 集会室

3階

★ 小研修室

入間ジャズクラブ

あそびあ〜と☆
こども劇場
いるま

いちの会

MOA健康生活
ネットワーク

入間市障害者
自立支援
協議会

入間市
川柳連盟

2F 集会室

入間市生涯学習
をすすめる
市民の会

いるま子育て
情報発信隊

青少年課
放課後
子ども教室

入間市
おもちゃ
病院



のぼりを新しく10枚作りました。
装飾につかったかざぐるまや
学びの妖精缶バッジを受付でプレゼントしました。

図書館 本館



図書館でも生涯学習についての特設コーナーを
12/14まで設置してくれました。

オープニングイベント参加人数

参加団体 147人

来賓等 10人

一般参加 121人

合計 278人



オープニングイベント ダイジェスト動画

<https://youtu.be/yCz5gPkyKgw>



第27回 いるま生涯学習フェスティバル

オンライン閲覧回数

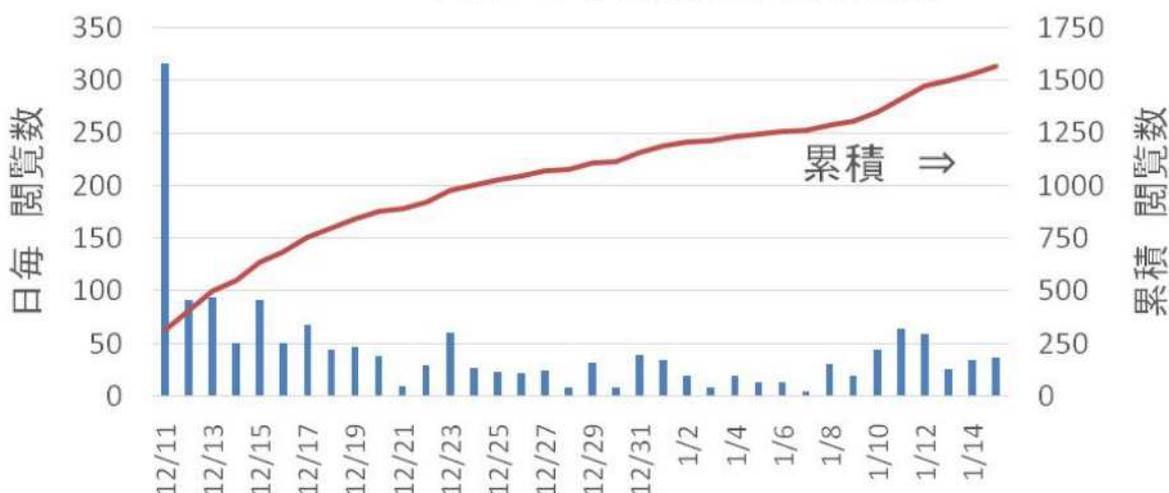
動画閲覧回数

分類	第27回(閲覧期間36日間)				第26回(閲覧期間14日間)			
	団体数	閲覧回数	1団体平均	1日平均	団体数	閲覧回数	1団体平均	1日平均
音楽会	7	603	86	2.4	9	894	99	7.1
団体紹介	21	811	39	1.1	22	877	40	2.8
研究発表	1	27	27	0.8	3	281	94	6.7
展覧会	0	-	-	-	4	373	93	6.7
実行委員	2	127	64	1.8	2	206	103	7.4
合計	31	1568	51	1.4	40	2631	66	4.7

動画閲覧回数

オンライン開催(2022/12/11~2023/1/15)

団体ビデオ閲覧数(日毎、累積)



前回(第26回)同様、「音楽会」の閲覧回数が多かったです。しかし、前回より閲覧回数が1団体当たり2割以上減り、1日当たり7割以上減少しました。前回、閲覧回数が多かった「研究発表」と「展覧会」の分野が、今回は参加が少なかったことが全体の閲覧回数が減少する大きな要因となりました。

36日間の会期中、閲覧回数が1日100回を超えた日が、初日の1日だけでした。会期を長くした分、閲覧回数が分散したと言えます。

会期終了後も動画配信の継続を希望した動画(31動画中24動画)について、会期終了後の閲覧回数(3月5日現在)についてカウントしました。会期中よりも多くの閲覧があった団体が9団体あり、会期中の2倍以上も閲覧されている動画もありました。

また、前回より動画配信を継続している11動画についても、閲覧数が大きく伸びている動画が多くありました。

オンラインのメリットは「いつでも、どこでも」閲覧できることです。

生フェスで制作した動画は、一過性のイベントで終わらず、会期後も効果が持続し、蓄積されることが認められました。

団体別動画閲覧回数

分類	団体名	動画種別	第27回 (期間中)	第26回 (期間中)	期間外 閲覧数 (3/5現在)	合計 閲覧数 (3/5現在)
音楽会	Tea Time コーラス	A	123	不参加	29	152
音楽会	東町民謡会	A	114	(114)	-	-
団体紹介	入間ジャズクラブ	B	109	不参加	-	-
音楽会	The Ladies Consort	B	103	(130)	36	139
音楽会	楽器トーンチャイムの会	C	95	不参加	-	-
実行委員	(オープニングセレモニー)	A	92	(132)	17	109
団体紹介	入間市の文化遺産をいかす会	C	86	不参加	23	109
団体紹介	入間市児童センターボランティア会	B	85	(46)	20	105
音楽会	入間市音楽家協会	B	71	(101)	44	115
音楽会	こうのとりの	C	61	(56)	-	-
団体紹介	入間市生涯学習をすすめる市民の会	C	55	(61)	33	88
団体紹介	チームあいてい夢広場	C	54	(60)	59	113
団体紹介	青少年課放課後子ども教室	B	44	(66)	12	56
団体紹介	あそびあ〜と☆こども劇場いるま	C	41	(35)	6	47
団体紹介	いるま子育て情報発信隊	B	40	(51)	1	41
音楽会	Liebe Freunde	C	36	(76)	37	73
実行委員	(オープニングイベント)	C	35	(74)	5	40
団体紹介	入間市児童センターアイクス	D	30	34	80	144
団体紹介	いちの会	D	28	62	22	112
団体紹介	入間市障害者自立支援協議会	D	28	26	122	176
団体紹介	ウォーキン・ジャズ・クラブ	D	28	50	42	120
研究発表	野田双子織研究会	D	27	40	-	-
団体紹介	生活クラブ生活協同組合入間支部	B	27	(34)	10	37
団体紹介	入間市おもちゃ病院	D	26	40	58	124
団体紹介	土曜フォトクラブ	D	25	65	-	-
団体紹介	MateRio	A	25	(25)	15	40
団体紹介	ヒッポファミリークラブ	D	18	25	43	86
団体紹介	おはなし円(まどか)	D	18	28	-	-
団体紹介	まちづくりサポートネット元気な入間	D	17	60	26	103
団体紹介	MOA健康生活ネットワーク	D	14	15	11	40
団体紹介	読み聞かせボランティアどんぐり	D	13	32	51	96
研究発表	アリットお茶大学研究生コース		不参加	155	121	276
音楽会	りらの会		不参加	141	-	-
音楽会	Irumaコール ラ☆ルーチェ		不参加	117	54	171
展覧会	入間市美術協会(2:水彩・彫刻他)		不参加	105	7	112
展覧会	入間市工芸展(木工)		不参加	105	18	123
展覧会	入間市美術協会(1:油彩)		不参加	98	11	109
音楽会	入間市中央少年少女合唱団		不参加	87	101	188
研究発表	八木手揉み狭山茶道場		不参加	86	77	163
音楽会	プリムローズ		不参加	72	43	115
団体紹介	こども食堂ネットワークいるま		不参加	49	20	69
団体紹介	NPO法人フードバンクいるま		不参加	42	31	73
団体紹介	ドラマフェスタin入間実行委員会		不参加	19	-	-
団体紹介	入間カーレットクラブ		不参加	17	47	64
	総数		1568	2631	1357	3728

第27回 いるま生涯学習フェスティバル アンケート

今回、オープニングイベント来場者へのアンケートは、LoGoフォームのQRコードでアクセスして回答するものしか用意していなかった為、分かりづらかったのか、案内をしても、アンケートの回答はありませんでした。

参加者（団体）アンケート、実行委員アンケートの回答をもとに、振り返りと次年度に向けた問題点、改善点をまとめました。

会場開催について

良かった点

- ・まだまだコロナによる制限がある中で、3年振りに、会場開催（展示）出来てよかった。
- ・気持ちも前向きになった。
- ・人の交流、地域のつながりを実感できよかった。
- ・オンラインと併用で実施できたことで、今後の可能性が広がると思う。
- ・大きな舞台で踊る姿を見ることができてよかった。
- ・念願の会場開催があり、嬉しかった。
- ・一緒に作品を作る時間を過ごすことは楽しく、有意義だった。
- ・会場がきれいでコンパクトなのがよかった。
- ・観覧に制限がなかったのが良かった。
- ・進行の流れがスムーズで時間通りだった。
- ・缶バッジや風車を子供たちが喜んでいた。
- ・チアの子供たちが2階に大勢来てくれたおかげで会場も盛り上がった。元気になった。

問題点・改善すべき点

- ・受付の位置をわかりやすくして、人の流れをスムーズにできるとよかった。（係の方の対応について認識を統一する必要）
- ・会場のブースのスペースはもう少し広いといいな。
- ・オープニングイベントという名称のためか、お客が非常に少なかった。もう少し市内外に宣伝すべき。
- ・オープニングイベントのホール発表会では、観客数が少なかった。
- ・事前に彩の森公園にチラシを配布するなど、彩の森公園からの集客も考えたらいい。
- ・規制がどれだけ緩和されるかによりますが、やはり食べ物の屋台がないと寂しいので、過去の開催を参考に、出店を検討してほしい。
- ・控室の防犯対策が不十分だった。
- ・展示会場やホールの舞台、客席等では、感染症対策を十分に行ったが、控え室（和室）で三密が発生した。裏方スペースの感染症対策も検討すべき。

会場型・オンライン型のハイブリット開催について

- ・コロナが下火であれば、今までの形態プラス配信がよいのかなと思いました。
- ・今年度のようなオンラインと会場との2パターンの参加があると嬉しいです。
- ・この2年間のオンラインで開催での動画、サイトがあるからこそ今後は、会場開催を主に、会場取材、発表収録したものをオンラインにあげてはどうか。
- ・出店と今回のデジタル開催の業務を両立することは業務量的に厳しいと思うので、デジタル部分は当日のホールのライブ配信に絞るなど、事務量削減、人手不足もあるので実行委員の校正の見直しを検討する必要があります。
- ・会場型とオンライン型の併用で、事務局の稼働が増した。会議の時間を短縮しても良いかもしれません。
- ・オンライン型と会場型をハイブリッドで実施する方法は、2つの事業を同時進行で実施するようなことになるので、事務局の準備負担が大きい。オンライン型と会場型を各年で交互実施してはどうか。

第27回 いるま生涯学習フェスティバル アンケート

オンライン開催について

良かった点	<ul style="list-style-type: none">・今回Web参加して本当によかったです。・1,000円で編集してくれたのはありがたかった。・コロナ禍である事の配信の形の良さとして、他の活動の様子を知るチャンスになりました。・1月初めに、団員の一人が永眠いたしました。ご親族や彼女を知っているたくさんの方に、彼女の動画があることを連絡し、やさしい姿で歌っている彼女を皆で偲ぶことができました。ご親族もとても喜んでくれました。・聴いた方から「プロ並みにすごかった」「素敵だった」「きれいだった」等、好評でした。良い機会をいただけて良かったと思っています。・動画の収録、編集を実行委員が請け負うことをやめて、入間ケーブルテレビに委託するようにしたことで、実行委員の負担が軽減できた。・昨年同様、制作した成果が一過性に終わらず、アーカイブとして蓄積していくことが素晴らしい。
問題点・改善すべき点	<ul style="list-style-type: none">・動画検索しにくかった。・オンラインでの活動紹介がそれぞれ過ぎて、続けて見てみようとはなかなか思えないかなと。・オンライン開催の日数を長くしたが、昨年度より閲覧数が減った。特に、期待していた年末年始の期間に、閲覧回数に増加が全く見られなかった。・動画の作成に当たって、事前に著作権・肖像権等の許可を得てから入間ケーブルテレビに編集委託に出すことなど、著作権手続きの認識を十分に理解して頂けなかった団体があった。申込み時に、しっかりと認識して頂ける手続きが必要。・すべてを動画で扱うと、見ている時間が長くて、かえって見てもらえなくなる。コンテンツとして、動画が適する内容と、静止画や文字情報が適する内容がある。具体的には、音楽発表会や研究発表会などは動画が適するが、サークル・団体紹介は静止画や文字情報で十分だと思う。次回以降は、動画と静止画を申込時に選択できるとよい。

年度以降の実施について

- ・何らかの発表の場があることはよい。
- ・このまま継続すると良いと思います。
- ・市のホームページトップに期間中はすぐ観ることができるといい。
- ・生涯学習ニーズの多様化、細分化、学習者の高齢化が進み「会場」か「オンライン」かの二択論ではなく、目的と手段(ターゲット)のマッチングで考えるべき。
- ・コロナ前の形がいいと思うが、産業文化センターでの開催ならば、彩の森公園を利用した「生涯学習イベント」など考えてはどうか。
- ・コロナ終息するならば2日間、通常の開催はどうか。
- ・飲食出店があるとイベントとして盛り上がる。
- ・飲食は保健所の許可が厳しいので、キッチンカーの出店はどうか。
- ・実行委員の高齢化と人数減少、予算の削減、市職員の減少が著しいなか、コロナ禍前のような大規模会場開催には、もう戻れないと思う。少ないスタッフと費用で企画運営できる現実的な規模に、事業をスリム化する必要がある。